

貸付事業会計

一. 事業活動収支の部

1. 事業活動収入

①事業収入

償還金収入 8,030万円 (前期 8,496万円)

貸付をしている62件からの年賦償還金合計で、前期より466万円減。22年度は完済3件、繰り上げ償還2件だった。新規の貸し付けは2件、貸付額は1,100万円。これで貸付残高は7億4000万円となっている。

利息収入 1,364万円 (前期 1,576万円)

既貸付62件(利率は3~1.7%)からの利息収入で、前期より212万円の減。

2. 事業活動支出

①事業費支出 6,800万円 (前期 6,900万円)

貸付金支出 6,000万円 (前期と同額)

社会福祉法人の社会福祉関連施設への整備費。年度当初で確定している貸付の予定はないが、大口の問い合わせが来ており、予備費として6,000万円を計上した。貸付残高の先細り傾向を防ぐため、融資条件を社会福祉法人などへ積極的に告知する。

②歳末たすけあい助成金支出 800万円 (前期 900万円)

北海道共同募金会への歳末たすけあいの支出で、貸付金の利息収入を原資としている。利息収入が200万円余減っていることから、たすけあいの助成額も100万円減らす。

③他会計への繰入金支出 645万円 (前期 676万円)

便宜的に一般会計で処理している基金運営費と事業運営費を半額負担するための繰入金支出。

二. 投資活動収支の部

1. 投資活動収入

①特定資産取崩収入 7,445万円 (前期 7,576万円)

貸付金、歳末たすけあい助成金、貸付事業会計から一般会計へ運営費などを支出する際に発生する。

2. 投資活動支出 9,394万円 (前期 1億7万円)

①特定資産取得支出

貸付の償還金と利息収入の発生分を繰入支出として計上する。